

関係各位

2015年1月20日
JIPテクノサイエンス株式会社

内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)
課題「インフラのセンシングデータを収集し統合的に解析する技術の開発」の採択について
～路面・橋梁スクリーニング技術の研究開発と社会実装を推進～

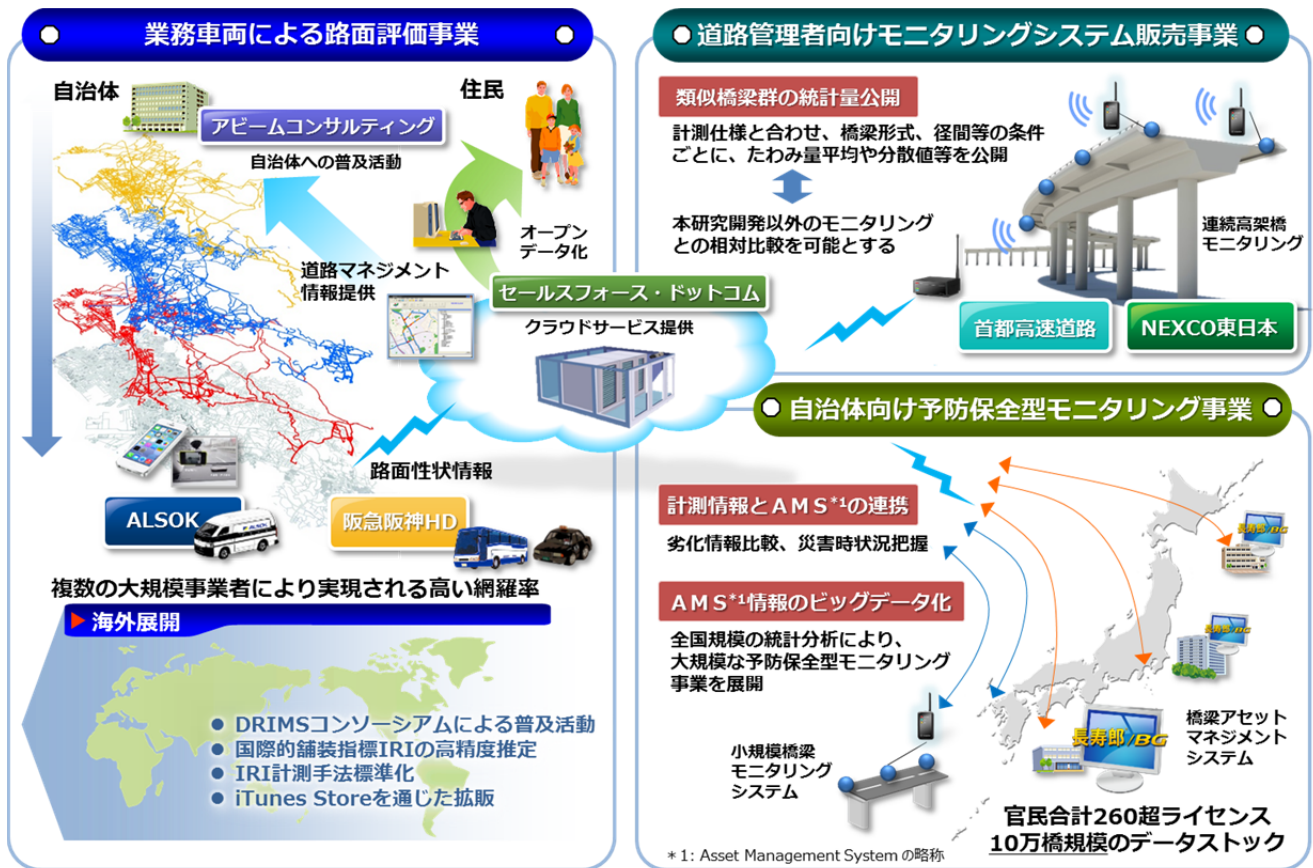
JIPテクノサイエンス株式会社(本社：東京都中央区、代表取締役社長：前川 静男)、国立大学法人東京大学工学系研究科(所在地：東京都文京区、総長：濱田 純一)、国立大学法人東京大学生産技術研究所(所在地：東京都目黒区)、国立大学法人東京大学先端科学技術研究センター(所在地：東京都目黒区)は、「内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)」による、課題「インフラのセンシングデータを収集し統合的に解析する技術の開発」の委託先に採択されました。

「内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)」とは、総合科学技術・イノベーション会議が、科学技術イノベーション創造のために府省の枠や旧来の分野の枠を超えて創設したプログラムです。産学官連携により、基礎研究からその出口までを迅速につなぎ、科学技術イノベーションを戦略的目撃強力に推進することを目的としています。

本研究開発事業は、JIPテクノサイエンス、東京大学 3 機関(工学系研究科、生産技術研究所、先端科学技術研究センター)の 4 者により、「インフラ予防保全のための大規模センサ情報統合に基づく路面・橋梁スクリーニング技術の研究開発と社会実装」というテーマのもと、舗装と橋梁を対象にしたモニタリングによる状態の把握、データの多量収集技術、統合的データ管理および分析等の基礎研究を行い、インフラ管理者・利用者双方から得られる情報を大規模に収集・解析し、絶対評価と相対比較により効果的にスクリーニングする技術開発を行います。

また、実施にあたっては、高速道路管理会社、地方自治体(千葉県千葉市、大阪府豊中市)からそれぞれ実証実験フィールドを提供いただく予定です。さらに、総合警備保障株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、株式会社セールスフォース・ドットコム、アビームコンサルティング株式会社の協力を得て、研究成果の社会実装(業務車両を用いた大規模路面評価、地方自治体・住民への情報提供等)を見据えた実証実験を行います。

4 者は本研究開発事業を通じ、詳細調査や補修の対象となるインフラ、事故リスクの高いインフラを確実に効率的に絞り込むスクリーニング技術を開発し、インフラの予防保全を推進していきます。



イメージ図：本研究開発事業の出口戦略

【参考】 内閣府ホームページ

<http://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/index.html>

管理法人(独立行政法人科学技術振興機構)ホームページ

<http://www.jst.go.jp/pr/info/info1052/besshi1.html>

本ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在のものです。

予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

本件に関するお問い合わせ

■ 報道関係のお問い合わせ先

JIP テクノサイエンス株式会社

管理本部 総務管理部

TEL : 03-5614-3201

E-mail: info@jip-ts.co.jp

■ 本研究開発に関するお問い合わせ先

JIP テクノサイエンス株式会社

インフラソリューション事業部 東京技術営業部 廣瀬/高橋

TEL : 03-5614-3206

E-mail: ams_sales@cm.jip-ts.co.jp

【会社概要】

JIP テクノサイエンス株式会社

東京都中央区日本橋茅場町 1 丁目 2 番 5 号

代表取締役社長 前川 静男

設立 : 2003 年 4 月

資本金 : 300,000,000 円